

共同研究に関するお知らせ

当研究室では、診断支援技術のさらなる発展のために、東京大学医学部附属病院を主任研究施設とする以下の多施設共同研究に参加しております。この研究は東京大学医学部倫理委員会での審査・承認後に関連する研究倫理指針に従って実施されます。

〔研究課題〕

各種診断支援ソフトウェアの学習および性能改善に関する研究（多施設施設共同研究）
（東京大学医学部倫理委員会審査番号：10571）

〔研究機関名及び研究責任者氏名〕

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 千葉大学フロンティア医工学センター
研究責任者 中口俊哉（教授）
担当業務 診断支援ソフトウェアの開発

〔主任研究施設名及び研究責任者氏名〕

研究機関 東京大学医学部附属病院
研究責任者 林直人（コンピュータ画像診断学／予防医学講座・特任教授）
担当業務 データ収集、各共同研究機関で開発された診断支援ソフトウェアの学習・評価

〔研究期間〕

2014年7月29日～2019年7月28日

〔研究の意義〕

診断支援ソフトウェアの研究／開発には質・量ともに十分なデータが必要ですが、実際には量・質ともにごく限られたデータで開発を行っていることが大きな問題になっています。主任研究施設である東京大学医学部附属病院では診断支援ソフトウェア開発用の症例データベースを構築しており、これらのデータを有効活用できれば診断支援ソフトウェアの研究／開発が促進されるとともに、画像診断の効率・精度のさらなる向上が期待されます。

〔研究目的〕

当研究室で開発した診断支援ソフトウェアを東京大学医学部附属病院で学習・評価を行い、得られた知見を基に改善を図ることを目的とします。

〔研究方法〕

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京大学医学部倫理委員会の承認を受けて実施されます。この研究はこれまでに行われている画像検査のデータや所見などのデータを収集して行う研究です。

当研究室で開発した診断支援ソフトウェア動作検証のために、東京大学医学部附属病院よりサンプルデータの提供を受けます。提供を受けるデータは東京大学医学部附属病院において氏名・患者ID・生年月日等の個人情報を削除し、個人情報とは一切連結できないようにした上で、DVD-ROM等の記録媒体に記録されます。

提供を受けたデータは当研究室責任者である中口俊哉のもと当研究室内の鍵のかかる場所で厳重に管理され、研究終了時に破棄されます。

[研究結果の公表]

研究結果は、個人が特定できない形で学会等において発表されます。この研究で収集したデータは厳重な管理の下、研究終了後5年間保存されます。なお、この研究に対する説明を希望される方は下記までご連絡ください。

[その他]

この研究に関する費用は、当研究室の運営費交付金より支出されています。また、この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

2017年5月22日

[問い合わせ先]

(当研究室研究責任者)

中口俊哉 (フロンティア医工学センター・教授)

住所：千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

電話：043-290-3296

Eメールでのお問い合わせ：nakaguchi@faculty.chiba-u.jp (@を半角に直してください)

(多施設共同研究全体の問い合わせ先)

野村行弘 (東京大学医学部附属病院コンピュータ画像診断学/予防医学講座・特任研究員)

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5800-8666 (放射線科医局)

Eメールでのお問い合わせ：nomuray-ky@umin.ac.jp (@を半角に直してください)